

婦人と子ども

第一卷第一號

(明治三十四年一月廿九日)

發刊の辭

我國教育界刻下の急務は兒童教育法の研究なり。願ふに兒童學の研究は、現今大に發達し來りたりといへども、尙未、完成の域に至らず。從つて其教育材料たる童話遊戯唱歌等の研究、亦甚だ、幼稚の域に在り。是を以て、學校幼稚園等に於ては、其の十分ならざるを知りつゝも、仍適切ならざる材料に依りて、兒童を教育せるもの、是れ實に現今の通弊なりとす。されば幼兒兒童の研究、其教育材料の精撰、其教育方法の確定、誠に方今我國教育界の急務にあらざるや。

我國教育界、刻下の急務は婦人教育殊に母としての婦人教育の普及に在り。兒童を育成し、家庭を整理するは婦人の任なり。盜を捕へて後、繩を求むる者、人之を笑ふ、育兒の智識なくして、母たらんとし、家庭を整理する資力を備へずして、一家の主婦たらんとす。誰か之れに類せずとせんや。婦人出で、一家を治む。先づ知るべきものは、育兒の智識なり。幼兒心身の發達は如何、之を修養助長せしむべき方法は如何、而して幼兒心身の自然的發達は獨り圓滿なる家庭に於てのみ望み得るものとすれば、之を形成するには、如何にすべきか。是れ方今我國婦人の當に力めて知悉せざるべからざる問題にあらざるや。

我國教育界、刻下の急務は家庭に向つて好個の讀書材料を供給するに在り。凡そ婦人は其天職を盡さんがため、常に自ら修養を加へて、其智見を擴め、其品格を進め、其趣味を高尚にせざるべからず。此の如くにして、其地位を進め、以て將來、良妻賢母となるに至るべきなり。方今我邦、婦人に關する著術界は、甚寂寥たり。良好なる家庭的讀書材料は供給して、以て婦人の修養に資せしむること、これ實に、家庭教育上の一大急務にあらざるや。

本會は、もと、幼兒保育の方法を研究せんがため、同志相集りて設立せるもの、創立以來茲に五年の星霜を経て、爾來漸く隆盛の運に向はんとす。今回更に規模を擴張し、こゝに本誌を發刊して、以て大に當時の急務に向つて、貢獻する所あらんとす。是を以て、本誌は一方に於ては兒童幼兒と共に語り共に歌ひ共に遊びて其師友たらんことを期し他方に於ては、母としての婦人、教育者としての婦人の好伴侶となりて共に兒童教養の任に當り共に高尚神聖なる家庭の快樂を得むことを期し而して現今一般女子教育の發達尙甚だ遅々たるものあるを以て更に此方面に於て滿身の力を盡して其普及を期せんと欲するものなり。